

とうじ

12月23日（月）冬至

おととい、21日は冬至でした。

いちねんかん、もっとひるまじかんみじか
一年間で、最も昼間の時間が短い

ひ。よるながひ
日。夜が長い日です。おととい

ひるたいようたかいちねんかんいちばん
昼の太陽の高さも、一年間で一番

ひく
低くなります。太陽からもらえる

ちからいちばんちひい
力が一番小さい日とも言えます。

むかしひとひとくべつひす
昔の人は、この日を特別な日として過ごしてきました。な

ぜなら、あしたすこひるながたいようちから
ぜなら、明日から少しずつ昼が長くなるからです。太陽の力

おお
が大きくなっていくからです。ゆずをお風呂に入れた「ゆず

ゆはいしゅうかんむかし
湯」に入る習慣も、昔からあったようです。ゆずのにおい

えいようからだきよきもあした
や栄養で、体をきれいにし、清らかな気持ちで明日を

むかふゆさむのき
迎えようということです。また、冬の寒さを乗り切ろうとい

ねが
う願いもあったのかもしれませんが。

こうちょうせんせいこどもころゆはい
校長先生も、子供の頃「ゆず湯に入ると、かぜをひかない」

はなしきやまいきい
という話を聞いてきました。「病は気から」と言いますが、

たしきもおぼ
確かに、かぜをひかないという気持ちになったことを覚えて

みなゆはい
います。皆さんは、ゆず湯に入りましたか。



村越 新